

2010年8月23日

東急車輛製造株式会社

日本初のステンレス電車  
産業考古学会から「推薦産業遺産」に認定

5月15日、日本大学駿河台キャンパスで開催された産業考古学会第33回総会にて、当社が保存する「日本初のステンレス電車（東急デハ5201）、日本初のオールステンレス車両（東急デハ7052）と設計関連図面」が、産業考古学会推薦産業遺産 第82号に認定されました。車両メーカーが保存する車両が推薦産業遺産に認定されたのは、初めてのことです。

総会では、同学会の玉川寛治会長から当社の車両生産統括部長（歴史記念館長）・前田秀幸に推薦産業遺産認定証が授与され、また、技術開発室長・杉山 隆が、ステンレス車両の発達史と製品保存についてのスピーチを行ないました。さらに、推薦人である同学会鉄道分科会の石本主査から、「現在ステンレス車両は通勤電車の主流となっているが、その発展の礎となった日本初の製品が保存されていることは、技術史的に極めて意義深い」という推薦理由が述べられました。

この認定を受け当社は、本日8月23日（月）に行なわれた創立62周年記念式典にて推薦産業遺産認定証を横浜製作所歴史記念館に展示した他、保存車両の説明プレートに「推薦産業遺産」名板を取り付けました。また、11月には産業考古学会鉄道分科会主催の認定記念シンポジウムおよび見学会が計画されています。



日本初のステンレス電車（東急デハ5201・奥）、  
日本初のオールステンレス車両（東急デハ7052・手前）  
及び設計関連図面（左下）



美しい時代へ—豊かさを造り、未来を創る

東急車輛製造株式会社

## ●●参考資料●●

## ■ 産業考古学会および推薦産業遺産について

産業考古学会は 20 世紀以降の産業技術の変化により、古い技術や工場などの関連施設及び機器が失われつつある中で、産業技術の歴史を実証し、過去の技術を知るために貴重な施設等を保存、後世に伝えるべく、産業革命の本場イギリス産業考古学会に習い日本でも 1977 年(昭和 52 年)に発起されました。推薦産業遺産は文化財保護法などの保存措置を受けていない遺産の保存推進に役立てようとするもので、2009 年度末時点で国内各地の遺跡・遺構など 81 件が認定されています。



産業考古学会玉川会長（左）から前田への「推薦産業遺産認定証」授与



(左) 横浜製作所歴史記念館に展示された「推薦産業遺産認定証」



(右) 日本初のステンレス電車説明プレートに取り付けた「推薦産業遺産名板」



美しい時代へ—豊かさを造り、未来を創る

東急車輛製造株式会社